



おきなわ



万座毛

沖縄県土地家屋調査士会

平成26年度 第50回定時総会



挨拶

沖縄県土地家屋調査士会

会長 久高兼一

第50回定時総会を開催するにあたり、ごあいさつをいたします。来賓の皆様にご迷惑な折、ご列席下さいますと感謝申し上げます。昨年度は消費税増税前の建設ラッシュにより、これまで登記事件の減少が続いていた中で、増加に転じ、業務に活気が戻ってきました。また、公共嘱託事件に起きましても一括交付金を利用した事業を含めて、発注量が多大となり、当会としましても会員への協力をお願いしているところです。

平成25年度におけます当会事業は、会員への業務の連絡、研修会の実施、土地家屋調査士の知名度向上と社会貢献を目的に無料相談会の実施に加えて、絵本の配布、琉球国之図と完全復元伊能図フロア展の共催を行いました。とりわけ、無料相談会におきましては、「土地の境界トラブル無料相談会」とわかりやすいタイトルで那覇地方法務局職員の皆様と同席することで幅広い相談ができて喜ばれております。

また、富山県の小学生が書いた絵本「じめんのボタンのナゾ」を県下の小学校と公立図書館の約200か所余り寄贈しました。小学生の目線で見えた我々の仕事が広まることを期待したいところです。

琉球国之図と完全復元伊能図フロア展では尚財団保管の貴重な図面を見るいい機会であったことと、当会としては事前準備から新聞広告、期間中のスタッフの派遣、イベントの実施を行い、多数の来場者の結果に主催者側よりたいへん感謝されました。

筆界特定制度におきましては平成18年制度施行から県民へ周知され、昨年度は最多数の申請件数を上げられたことで52名の筆界調査委員を推薦いたしました。

平成19年4月開設しました「おきなわ境界問題相談センター」では毎週水曜日に無料の事前相談を受け付けており、県民の皆さんや行政担当者の方々のご相談を解決に向けて対応しています。当会としましても、見えなくなってしまった筆界を明確にして解決につなげることで県民の皆さんのご利益につながるよう努めていきたいと思っております。

今日は、沖縄県土地家屋調査士会の将来に向けて、益々の発展を願うと共に、ご列席くださいました来賓の皆様へご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、私の挨拶とします。



本日、第50回沖縄県土地家屋調査士会定時総会が開催されるに当たり、県内各地の会員の皆様に直接お目にかかってお祝いの言葉を述べる機会を得ましたことを、大変光榮に存じます。貴会及び会員の皆様方には、平素から登記事務を始めとする当局の所掌事務の円滑な運営に、格別の御協力と御支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。貴会におかれましては、土地家屋調査士制度の充実・発展のために日々御尽力され、着実にその成果を挙げておられます。これは、ひとえに会員の皆様が土地家屋調査士としての社会的役割と使命を強く自覚され、国民の信頼と期待に答えてこられたたまものであり、心から敬意を表す次第であります。また、先ほど、多年にわたり土地家屋調査士業務に従事された会員の方々を表彰させていただいたところですが、受賞された方々の今日までの御苦勞と御努力に対し、敬意を表し、心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御活躍を祈念いたします。本日は、せっかくの機会でありますので、現在の法務局を取り巻く情勢について、若干紹介させていただきたいと思っております。第一は、適正・迅速な事務処理についてであります。当局管内における表示登記の事件数は、平成23年が約2万6百件、平成24年が約2万百件、平成25年が約2万1千

祝 辞

那覇地方法務局

局長 内木場 一 晴

件と、ここ数年は約2万件台でほぼ横ばいの状態で推移しています。今後、政府の経済政策等による景気の動向が、表示登記の件数にどのように影響するのか気になるところではありますが、当局としては、経済活動の基盤でもある不動産の現況を正確、迅速に登記記録等に反映させる責任を担う行政機関として、今後もより効率的な事務処理を追求し、適正迅速な処理に努めて参りますので、御協力をお願いいたします。第二は、オンライン登記申請の利用拡大についてであります。オンライン申請については、ご承知のとおり、不動産登記申請を含む計5手続について、平成25年度末の目標値が71%と設定されており、これに向けて取り組んで参りました。登記事務のオンライン申請の利用率アップを図るため、これまでに貴会と法務局が連携し、種々の取組を行っておりますが、今後もオンライン申請の利用拡大に当たっては、皆様方の御協力なくして、利用率の向上は困難でありますので、引き続き利用拡大に向けて御協力をお願い申し上げます。第三は、乙号事務の包括的民間委託についてであります。当局における登記簿の公開等に関する事務の包括的民間委託については、平成20年4月から始まり、昨年度からは、株式会社メルファムという民間事業者により窓口業務が行われております。今のとこ

ろ大きな混乱等もなく事務処理がされておりますが、法務局として、引き続き、受託事業者に対する適切な監督を通して、更に質の高い公共サービスの提供に努めてまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。第四は、法14条地図作成作業についてであります。平成25年度は、那覇市山下町地区で地図作成作業を行い、約99%という高い筆界確定率を達成しました。本年度は、那覇市松尾一丁目、久茂地三丁目の一部で同作業が行われており、4月27日には、那覇市立開南小学校体育館で住民説明会を実施したところであります。第五は、筆界特定制度についてであります。筆界特定制度が導入され、既に8年が経過しておりますが、沖縄県内における本年3月末までの筆界特定申請手続数は、累計で144申請207手続となっております。当局では行政サービス向上と筆界特定事件の掘り起こしのために、本年1月に、「県下一斉！法務局休日相談所」を開設しましたところ、合計114件の相談のうち、17件が筆界に関する相談でありまし

た。相談所開設に当たっては、貴会及び会員の皆様の御協力をいただきました。あらためて感謝を申し上げます。筆界に関する専門的知識を有する土地家屋調査士の皆様には、筆界調査委員として、また、筆界特定の申請手続の代理人として、今後とも制度のより一層の普及・定着を図るため、御協力と御支援をお願い申し上げます。以上、法務局を取り巻く情勢について何点か申し上げましたが、私ども法務局といたしましては、今後とも適正・迅速な事務処理を行い、法14条地図作成作業を始め、表示登記等に関する重要施策に積極的に取り組んでまいり所存でございますので、会員の皆様方におかれましても、その社会的役割がますます重要視されている折、表示登記制度がより一層国民の期待と信頼に応えられるよう、今後とも、引き続き御尽力いただきますようお願い申し上げます。最後に、本総会の御盛会を祝し、沖縄県土地家屋調査士会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝・御活躍をお祈り申し上げます。私の祝辞とさせていただきます。





日本土地家屋調査士会連合会副会長の加賀屋でございます。どうぞ宜しくお願いします。まず沖縄県土地家屋調査士会の第50回定時総会のご盛会おめでとうございます。日頃、久高会長をはじめ会員の皆様方には連合会の会務に対しましてご理解、ご協力に心から感謝を申し上げたいと思います。また、宮城先生におかれましても連合会の監事という事でご尽力いただいております。毎回、業務や財務に関する事についても適切なアドバイスをいただいております。改めまして感謝申し上げます。それから、林会長からこれだけは言っとくよという事ですのでお伝えいたします。先日、自民党の政連関係の議員連盟総会がございました。河村さんが会長、塩崎さんが幹事長という事で活躍をしていただいております。全会員数で60数名いらっしゃいます。総会では2つの予算要望、3つの政策要望を出しています。いずれにしても政治連盟では調査士制度を守っていく上で大きな力をいただいております。この場をお借りして改めて御礼を申し上げたいと思います。本日、林会長から祝辞を預かってまいりましたので、読み上げさせていただきます。祝辞。本日ここに、那覇地方法務局長を始め、多くのご来賓をお迎えし、沖縄県土地家屋調査士会第50回定時総会が盛会に開催されまし

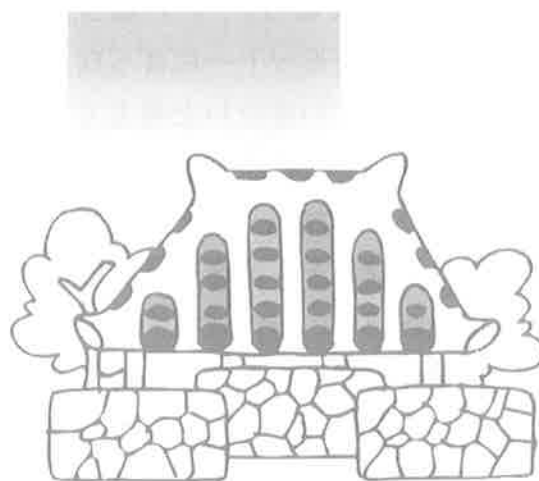
祝 辞

日本土地家屋調査士連合会長 林 千年 代理
連合会副会長 加賀谷 朋 彦

たことに、まずもってお慶びとお祝いを申し上げます。また、日頃から会長を初めとして、役員の皆様、そして、会員の皆様には、日本土地家屋調査士会連合会の会務運営につきまして、ご理解・ご協力をいただいておりますこと誠に心強く感謝を申し上げます。新執行部となって、早1年が過ぎますが、平成25年度の連合会の事業方針大綱を基本に活動を重ね、概ね初期の目標を達成できたと考えております。この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。土地家屋調査士制度において、今日的な課題として取り上げるならば、それは、「土地家屋調査士が土地境界の専門家として社会から認知を得て、その地位を確立し、社会的使命を果たすことに尽きる。」と考えております。そのための戦略的ツールとしているのが、「境界紛争ゼロ宣言」を社会全体に発信すること、「日常の業務成果を活用した地図作り」に参画することであり、これを強力に推し進めていかなければなりません。平成26年秋に、シンポジウムを開催しようとしていますのも、その一環でありますし、平成25年度の事業として、今年3月末に、「土地家屋調査士白書2014」を発刊させていただきましたのも、それらを推進する上での基礎資料と位置付けております。また、先ごろ、各府省情報化統括責任者連絡会議から、オンライ

ン手続の利便性向上に向けた改善方針(案)が示されましたが、これまで、連合会が要望してきました原本提示省略や添付書類提出の省略等の「オンライン手続に係る負担軽減」策が盛り込まれており、より一層、完全オンライン化に向けた取組みを強化して参ります。さらに、国土調査法第19条第5項の指定申請の関係では、国土交通省、土地・建設産業局長から本年3月12日付けで発出された「民間事業者等の測量成果を活用した地籍整備の推進について」の中で基準点測量の一環として、認定登記基準点を用いてよいことの位置付けがされるとともに、地積更正登記が条件付けられたところから、土地家屋調査士が、日常業務の成果を活用した地図作りに参画する道が大きく拓かれたと考えております。他方、近年、全国的に、業務量の減少が問題視されておりますが、これは、少子高齢化、人口の都市部への一極集中が大きな要因であると考えられます。これについても発送を転換すれば、業務領域の拡大につながる場面もあると考えております。例えば、土地所有者の高齢化による境界不明の多発、外国人による基地周辺地域や、水源地である山村部等の土地購入、企業による農地所有等の問題は、我々土地家屋調査士が持つ知見と経験を生かすことができる事柄であります。加えて、連合会としては、土地境界に関する法律行為の代理権、業務における調査権等の獲得を目指すべき時期が到来したと捉えております。また、東日本大震災被災地の復興計画等が更に具体化・現実化されることに伴い、登記所備付地図の修正作業、境界復元作業の必要性・重要性が高まることが見込まれますところから、引き続き、

復興支援に取り組んで参ります。会員の皆様におかれましても、引き続きのご協力をお願いいたします。土地家屋調査士制度を推進するに当たっては、会員の力を結集して組織力を強化し、土地家屋調査士会の自律機能の向上が肝要となります。その上からも、会員数の規模に左右されない適切な土地家屋調査士会の運営に資すべく、会員数が150人未満の土地家屋調査士会に対して、研修や広報などへの事業助成を行いたいと考えておりますので、全国の土地家屋調査士会と会員の皆様のご理解をお願いいたします。今後も、連合会は、土地家屋調査士制度の充実・発展に向けて全力で取り組み、役員一丸となって邁進する覚悟でおります。沖縄県土地家屋調査士会並びに会員諸兄の一層のご理解とご提言を賜りたくお願い申し上げます。結びに当たり、本日もご列席の皆様のご健勝と沖縄県土地家屋調査士会の益々のご発展を祈念し、お祝いのことばといたします。





祝 辞

那覇市長 翁長 雄志 代理

建設管理部長 **新垣 昌秀**

ハイサイ、市長が別件がありまして出席されません。建設管理部長の新垣です。市長からの祝辞を預かってきましたので代読させていただきますと思います。「ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ。」沖縄県土地家屋調査士会の第50回定時総会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。貴会におかれましては、久高兼一会長を先頭に、用地測量及び家屋調査業務を通して、本市の公共施設等の整備促進に大きく貢献されておりますことに心より感謝申し上げます。さて、国の積極的なデフレ脱却等により、日本経済は景気回復に動き出したと言われております。しかし、消費税増税により市民生活への影響も危惧されておりますが、景気が回復し、県内経済が好転することを期待しております。本市においては中核市として今年で2年目に入りました。業務も順調に進んでおり、「いい暮らしより楽しい暮らし」をモットーにさらなる市民サービスに努めていきたいと考えております。そのためにも、都市基盤の整備は重要でありますので、沖縄都市モノレール延長事業や道路整備事業、農連市場地区、モノレール旭橋駅周辺の市街地再開発事業、市営住宅建替えなど、様々な事業を推進しているところであります。さらに今年度からは、国土調査法に基づく地籍調査事業につきまして、本市が主体となって、未調査地

域を年次的に実施します。これらの都市基盤整備が円滑に実施できますのも、半世紀にわたり貴会および関係各位のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。結びに、沖縄県土地家屋調査士会のますますのご発展と、会員各位のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして祝辞といたします。「イッペーニフェーデービル。」





祝 辞

沖縄弁護士会

会 長 島 袋 秀 勝

ただ今、ご紹介にあずかりました沖縄弁護士会の島袋と申します。第50回沖縄県土地家屋調査士会定時総会の開催、本当におめでとうございます。謹んで、お祝い申し上げます。また、先ほど表彰を受けられた先生方、誠実な職務の執行、長年のご苦勞に敬意を表します。沖縄弁護士会を代表して、一言祝辞を申し述べさせていただきます。貴会及び土地家屋調査士の皆様方は、①土地に関する分筆・合筆・地目変更登記、②建物に関する表題・表題変更登記、及び③境界確認測量等、重要な業務に携わっておられます。皆様方の業務によって、個々人の不動産という価値ある財産が確保されております。私の記憶に残っている境界紛争の事案をご紹介させていただきます。私が弁護士登録して1に携わった事案ですが、わずか数センチをめぐる親族間の境界紛争の事案でしたが（地積も1～2坪程度しか差が生じません）、私の方の依頼者が、相手方の対応に怒り・興奮して、脳傷害が生じ、半身麻痺の状態になってしまいました。祖父母の世代で土地を分ける際に、きちんと測量・境界確認の手続きさえ取っていればという事案でした。皆様方の業務が、紛争を未然に防ぐという観点から如何に重要であるかを示す事案です。貴会は、平成19年に、ADR機関として「おきなわ境界問題相談センター」を開設されておられます。

「おきなわ境界問題相談センター」は、境界をめぐる紛争について、皆様方と弁護士が調停委員として協働して、当事者双方に調停（話し合いの場）を提供し、専門家の立場から中立・公正なアドバイスを行い、紛争当事者双方が納得して、将来にしこりを残さないような円満な解決を図ろうとするものです。市民に、裁判となる以前に、比較的安価な費用で、専門家の知見・技術等を活かして、迅速・適切・円満に境界紛争を解決する機会を提供するものであり、重要な機能・役割を果たしております。沖縄弁護士会も、貴会及び皆様方との協力、連携を密にして、「おきなわ境界問題相談センター」を、市民のなかに定着させていきたいと考えております。最後に、貴会及び皆様の益々のご健勝、ご活躍をご祈念し、祝辞とさせていただきます。



第50回 定時総会

日時：平成26年5月23日（金）
場所：沖縄都ホテル 2階「綾羽の間」



第50回定時総会 次第

- 一、開会の辞
司会 仲井間 慎也
副会長 比嘉 定善
会長 久高 兼一
- 二、会長挨拶
- 三、議長選出
- 四、議事録署名人選出
- 五、議 事
 - 第一号議案 平成26年度事業報告及び会務報告
 - 第二号議案 平成26年度決算の承認並びに監査報告の件
 - 第三号議案 会則等一部改正（案）審議の件
 - 第四号議案 平成26年度事業計画（案）審議の件
 - 第五号議案 平成26年度予算（案）審議の件
 - 第六号議案 その他運営に関する件
- 休 憩
司会 國吉 真介
- 六、ブローグ「土地家屋調査士の歌」
- 六、土地家屋調査士倫理綱領斉唱 新入会員 筒長 宏一郎
- 七、会長挨拶
会長 久高 兼一
- 八、表彰状授与
 - (1) 福岡法務局長表彰
 - (2) 那覇地方法務局長表彰
 - (3) 日本土地家屋調査士連合会長表彰
 - (4) 九州ブロック協議会長表彰
 - (5) 沖縄県土地家屋調査士会長表彰
- 九、来賓祝辞
- 十、来賓紹介
- 十一、祝電披露
副会長 島袋 裕二
- 十二、閉会の辞
- 十三、写真撮影
- 十四、懇親会
司会 譜久山 朝勝



司会の仲井間慎也理事



比嘉定善副会長の開会挨拶



久高兼一会長の挨拶



議長に指名され挨拶する比嘉隆会員



執行部席



監査報告の伊波克之会員



議案審議 質問する会員と応答する執行部の様子



セレモニー（式典の部）



式典司会の國吉真介理事



「土地家屋調査士の歌」の大合唱



倫理綱領斉唱の翁長宏一朗会員



法務局表彰司会の大濱庶務係長



福岡法務局長表彰の宮崎禎治会員



福岡法務局長表彰の山根清信会員



内木場一晴局長へ謝辞を述べる島袋精次会員

福岡法務局長表彰（永年）
宮崎 禎治（那 覇）
山 根 清 信（中 部）
那覇地方法務局長表彰（永年）
島 袋 精 次（那 覇）
仲 榮 眞 盛 松（北 部）
砂 川 達 也（宮 古）

日本土地家屋調査士会連合会長表彰

- (4条) 久高兼一(那覇)
- (5条) 當山清(那覇)
- 前里盛治(宮古)

日本土地家屋調査士会連合会長感謝

- (7条1号)
- 宮城朝光(那覇)



九州ブロック協議会長表彰

- (4条6号)
- 上原清(南部)
- 吉野仁(南部)
- 比嘉定善(中部)
- 伊波賢博(宮古)

沖縄県土地家屋調査士会長表彰

- (3条1号)
- 金城良次(那覇)
- 長間栄(那覇)
- 島康博(宜野湾)
- 與久田篤(宜野湾)
- 大城貴子(中部)



来賓の皆様



島袋裕二副会長の閉会挨拶

懇親会



加賀谷連合会副会長の乾杯挨拶

譜久山朝勝理事の司会進行のもと、久高兼一会長の挨拶につづき、加賀谷朋彦連合会副会長の乾杯の音頭によりスタート、懇親会には隣接士業の中小企業診断士協会からは大山俊樹理事・税理士会から伊野波盛昭事務局長・社会保険労務士会國場浩明副会長・宅地建物取引業協会小橋川共順副会長・行政書士会城間泰副会長も参加されお祝いの言葉を頂きました。



懇親会司会の譜久山朝勝理事

しばし歓談の後には各支部の壇上での挨拶があり思わぬ踊りやスピーチも飛び出し大いに盛り上がり楽しい懇親の場となりました。

また当会の顧問弁護士の平良卓也先生にはセレモニーから懇親会も最後までお付き合い頂き感謝申し上げます。



大城幸一政治連盟会長の挨拶



島袋徹志公嘱協会代表理事の挨拶



平良卓也顧問弁護士の挨拶

各支部の挨拶の様子



八重山支部



北部支部



中部支部



宜野湾支部



南部支部



踊りも飛び出した宮古支部



那覇支部



事務局となぜか比嘉副会長

親睦ゴルフコンペ

宮古支部広報委員 下地 和 博

日時：平成26年5月24日（土）スタート
場所：沖縄カントリークラブ



第50回定時総会の翌日 沖縄カントリークラブにて親睦ゴルフコンペを行いました。
優勝者は徳森良雄先生、準優勝は近藤哲司先生、三位は下地和博でした。又、次のコンペを企画しますので、他の会員の方々も是非参加して下さい

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	徳森 良雄	45	47	92	19.8	72.2
準優勝	近藤 哲司	49	56	105	32.7	72.3
3位	下地 和博	46	48	94	19.8	74.2
4位	仲宗根 善浩	45	50	95	19.8	75.2
5位	国吉 喜盛	47	49	96	19.8	76.2
6位	佐久川 紀安	48	45	93	16.3	76.7
7位	上原 正昭	50	51	101	23.3	77.7
8位	宮城 朝光	59	53	112	33.8	78.8
9位	長間 栄	54	53	107	19.8	87.8

仲村文宏先生法務大臣表彰状授与式

報告 久 高 兼 一 (会長)

平成26年6月17日火曜日午後1時より東京都文京区東京ドームホテル地下1階「天空」にて日本土地家屋調査士会連合会第71回定時総会が行われ、当会那覇支部の仲村文宏先生が法務大臣表彰の表彰状を授与されました。



奥野信亮法務副大臣より法務大臣表彰状を受ける仲村文宏先生

表彰状授与後、議事に入る前に休憩に入り、仲村文宏先生と歓談しました。晴れやかな表情が印象的でした。先生、法務大臣表彰受賞おめでとうございます。



表彰状授与後の仲村文宏先生



と一緒に記念撮影です。

那覇支部だより

第43回 定時総会

日時：平成26年4月9日（水）午後6：30

場所：歩人・灯（那覇市泉崎1-14-5）



司会 金城行男支部役員



開会挨拶 平良正人副支部長



島袋裕二支部長の挨拶



久高兼一 会長挨拶



執行部皆さんと儀保宜伸議長



総会の様子



総会の様子

総会開始前から議長席には儀保会員が陣取り、やる気満々の議事進行により総会は無事に終了する事は出来ました。（居酒屋では早くビールが欲しくなります。）議事の途中には、初めて支部総会に参加する会員の挨拶があり今回4名の新入会員と南部支部から移動した仲原武己会員の挨拶もありました。



仲原武己 会員 挨拶



神谷長秀 会員 閉会挨拶

懇親会



乾杯挨拶 宮崎相談役



乾杯の様子

新入会員の挨拶の様子



宮城 浩 会員



翁長宏一朗 会員



宮城 匡 会員



宮里辰也 会員



懇親会の様子

宮崎会員の乾杯の音頭により待ちかねた懇親会がスタート、総会の開始時間が遅くて十分な審議や要望を述べる時間が足りないなど総会の反省もしつつ、おいしいビールを頂きながらの会員親睦になりました。

途中には新入会員の自己紹介の挨拶があり、「頑張っって支部長になります！」「調査士会会長になります！」「1億円プレーヤーを目指します！」等のたのもしい発声があり、更に懇親会を盛り上げてくれました。那覇支部に4名もの会員が増えたことへのうれしさ倍増とやる気満々の新人のこれからの活躍が大いに気になるところです。

北部支部だより

北部支部広報委員 崎 浜 昇

第18回 定時支部総会風景

日時：平成26年4月25日（金）午後5時30分～7時15分

場所：名護市産業支援センター会議室



副支部長 仲井間慎也、支部長 崎浜 昇



議長 具志堅興清



総会風景



支部運営の提案



総会風景



久高会長 挨拶

平成26年度 第1回 北部支部研修会

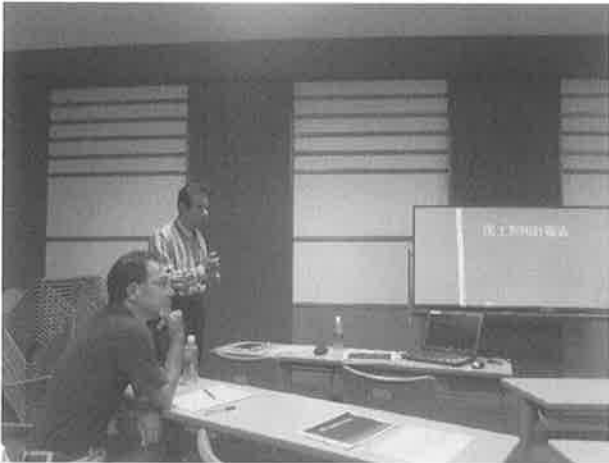
日時：平成26年6月20日(金)
 時間：17：00～19：00(2時間)
 場所：名護産業支援センター

進行役 崎 浜 昇

講義の内容

『国土利用計画法』 講師 北部支部 比 嘉 隆
 法令上の制限を数回にわたり研修予定

懇親会 時間：19：00～ 場所：居酒屋 風



講義中の様子 講師：比嘉 隆 先生



質疑応答の様子



講義中の様子



懇親会の様子

58ページにわたる講義資料が準備されており、内容豊富な研修でした。今後も比嘉隆先生による都市計画法などの法令上の制限の研修が予定されています。

平成26年度法務局名護支局・司法書士会・ 調査士会合同事務打ち合わせ会（北部支部）

日時：平成26年7月28日（月）
司会：調査士会北部支部長 崎浜 昇



長野員隆支局長挨拶



打ち合わせの様子



質疑応答の様子



打ち合わせの様子

次 第

1. 支局長挨拶……………長 野 員 隆
2. 法務局から司法書士会・土地家屋調査士会への連絡・依頼事項
……………第二統括登記官 吉 野 秀 智
3. 司法書士会・土地家屋調査士会から法務局への連絡・要望事項
 - ①司法書士会北部支部
 - ②土地家屋調査士会北部支部
4. 統括登記官挨拶……………讀 山 司
5. 閉会の挨拶……………司法書士会北部支部長 船 越 英 重
（北部支部広報委員 崎 浜 昇）

平成26年度『土地の境界トラブル無料相談会』各会場写真集

7月30日・31日に開催された無料相談会では久高会長と糸数広報部長において法務局も参加された会場を中心に激励の訪問、今回のスナップ写真は各支部の広報委員が

らの提供によるものを編集して掲載、ホームページにおいても広報委員作成の「無料相談会の様子」を公開しております。

広報委員紹介

- 那覇支部 伊禮 範安 会員
近藤 哲司 会員
- 南部支部 大城 隆 会員 (支部長)
- 宜野湾支部 島 康博 会員 (支部長)
- 中部支部 吉元 一 会員 (支部長)
- 北部支部 崎浜 昇 会員 (支部長)
- 宮古支部 下地 和博 会員 (支部長)
- 八重山支部 高橋 潤 会員



那覇支部 県庁1階ロビー 午前の部



県庁1階ロビー 午後の部



南部支部 与那原コミュニティセンター



南部支部 糸満市役所





宜野湾支部 宜野湾市役所



宜野湾支部 読谷村役場



中部支部 沖縄市役所 1階ロビー



中部支部 いちゅい具志川じんぶん館 部隊 1



部隊2

いちゅい具志川じんぶん館



部隊3



北部支部 今帰仁コミュニティーセンター



北部支部 東村役場



北部支部 東村役場



北部支部 宜野座村役場



北部支部 本部町役場



北部支部 大宜味村役場



北部支部 国頭村辺土名公民館



北部支部 金武町役場



北部支部 恩納村コミュニティーセンター



宮古支部 宮古島市役所 1階ロビー



八重山支部 石垣市役所 1階ロビー



公嘱協会だより

第30回 通常総会

日時：平成26年5月30日（金）午後3時30分

場所：沖縄県卸商業団地西洲卸団地ホール



会場の様子



島袋徹志理事長のあいさつ



仲宗根善浩議長

当日は同会場にて午後1時より平成25年度第2回業務研修会「業務管理システムとその運用操作方法について」が行われ、休憩を挟んでの開始となりました。

玉那覇稔理事の司会により進行、島袋徹志理事長あいさつの中で、公益目的の自主事業として掲げてきた「不動産に関する権利の明確化推進事業」が認められ、沖縄県より3月19日に公益法人としての認定書を頂き、4月1日には公益社団法人として新たにスタートしたとの報告があり、また、今総会では7月1日より3月31日の事業・決算等を審議し、4月1日から6月30日の事業については次の総会で行う、よって今年は2回総会が行われる旨の説明がありました。

議長選出では、執行部一任の声のもと仲宗根善浩社員が指名され、下記の議事が審議され承認されました。

議 事

1. 平成25年度第1期事業報告承認の件
2. 平成25年度第1期決算報告承認の件
3. 承認された現行定款の確認について
4. 入会金及び会費に関する規則の一部変更(案)について
5. その他協会の運営に関する件

第31回 定時総会

日時：平成26年8月22日（金）午後1時30分
 場所：沖縄都ホテル 地下1階「瑞雲の間」



会場の様子



開会のことば 福原義隆副理事長



仲宗根善浩先生への感謝状授与



上原政幸事務局長への感謝状授与

玉那覇稔理事の司会のもと、福原義隆副理事長の開会のことば、島袋徹志理事長あいさつに続いて、感謝状授与が行われました。

仲宗根善浩先生の退会にあたり、これまでの理事長として、また公益移行についても制度対策委員長として多大な力を注いでいただいた功績に対し、特別功労者としての感謝状授与でした。

上原政幸事務局長は8月末をもって退職されますが、19年3か月にわたり事務局として当協会の向上・発展に貢献したことへの感謝状授与でした。



来賓祝辞 内木場一晴那覇地方法務局長



来賓祝辞 比嘉定善調査士会副会長（代理）



屋宜宣勇議長

議案審議では、南部事務所社員の屋宜宣勇社員が議長に就任、挨拶のあと下記の議事が審議され承認されました。

議 事

1. 平成25年度第2期事業報告の件
2. 平成25年度第2期決算報告承認の件
3. 役員報酬の一部変更（案）について
4. 入会金及び会費に関する規則の一部変更（案）について
5. 理事の補充及び増員の件
6. その他協会の運営に関する件



閉会のことば 玉城吉教副理事長

新理事 南部事務所 佐久川紀安社員
 下地裕之社員 近藤哲司社員
 中部事務所 前田克也社員
 島康 博社員



懇親会の様子



総会後の懇親会は別室にて、近藤哲司社員の司会で進行、松川清康先生の乾杯の音頭でスタートし賑やかに行われました。